

長期ビジョン「Epson 25」 中期経営計画「Epson 25 第1期中期経営計画」

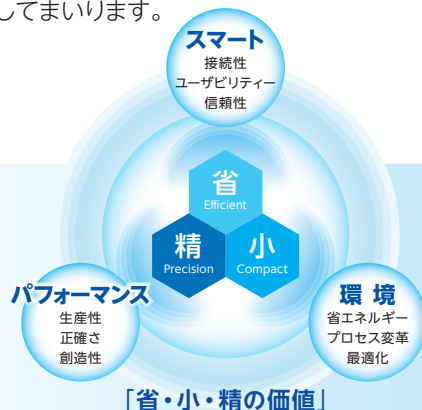
2016年3月、2016年度から2025年度の10年間にかけてエプソンが向かうべき方向性を定めた長期ビジョン「Epson 25」ならびに、このビジョン実現に向けて2016年度を初年度とする3カ年の中期経営計画「Epson 25 第1期中期経営計画」を制定しました。

ここでは、エプソンの描くビジョンと、第1期中期経営計画のご紹介をいたします。

エプソンは、事業環境の変化やメガトレンドなどを踏まえ、2025年のビジョンとして長期ビジョン「Epson 25」を制定し、ビジョンステートメントを『「省・小・精の価値」で、人やモノと情報がつながる新しい時代を創造する』と決めました。

情報通信技術の進展によりサイバー空間が拡大していく中、リアル世界にいるお客様にとって、その接点となる製品がますます重要となります。

エプソンは、リアル世界で実体のある究極のものづくり企業として、強みである「省・小・精の技術」を基に、「スマート」、「環境」、「パフォーマンス」という「省・小・精の価値」を提供し続けることで、4つのイノベーションを起こし、人やモノと情報がつながる新しい時代を創造していくことを目指してまいります。



「省・小・精の価値」で、人やモノと情報がつながる新しい時代を創造する



スマート

いつでもどこでも簡単・便利で安心して製品を使える世界を創造し、お客様の無駄、手間、時間、コストを徹底的に省きます。

環境

エプソン製品をご使用いただくことで、お客様の業務プロセスも含めて環境負荷を低減し、お客様と社会の持続的な発展をもたらします。

パフォーマンス

高性能な製品により、お客様の生産性、正確さ、創造性というパフォーマンスを大幅に向上します。

Epson 25 Co

Epson 25で目指す

プリンティング領域



インクジェット
イノベーション

独創の「マイクロピエゾ技術」を磨き上げ、より高生産性領域へ飛躍します。また、高い環境性能と、循環型の印刷環境をお客様へ提供します。

超高速コピー



オフィス

製紙機「ペーパーラボ」



高速ラインヘッド、
スマート化

高耐久・
高生産性ヘッド

デジタルプレス



産業

デジタル捺染



ドライファイバー
テクノロジー

高性能インク、
高速搬送

ビジュアルコミュニケーション領域



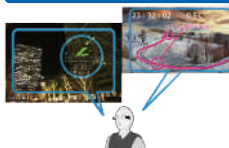
ビジュアル
イノベーション

独創のマイクロディスプレイ技術とプロジェクション技術を極め、ビジネスと生活のあらゆる場面で感動の映像体験と快適なビジュアルコミュニケーション環境を創造し続けます。

サイネージ



スマートアイウェア



超高光束化



レーザー光源を含む
光制御技術

小型・軽量化
センシング、AR 技術

ライティング



<4つのイノベー

マイクロデバイス領域

私たちエプソンは、より良い社会の実現に中心的な役割を果たし、「なくてはならない会社」でありたいという高い志の下、新しい価値の創造に挑戦しています。

エプソン独自のデバイス技術をコアに、水晶の「精」を極めたタイミングソリューション・センシングソリューションと、半導体の「省」を極めた省電力ソリューションにより、通信、

各領域のビジョン

ウェアラブル領域



ウェアラブル
イノベーション

ウオッチのDNAを基盤に、正確な時間とセンシングに磨きをかけ、個性あふれる製品群を創り出し、さまざまなお客様に着ける・使う喜びを提供します。

スポーツ・健康



ファッション



超センシング



独創高価値
ムーブメント

ステータス



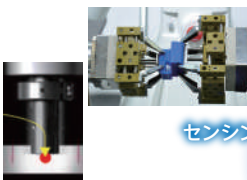
企画・デザイン

ロボティクス領域



ロボティクス
イノベーション

「省・小・精の技術」に加え、センシングとスマートを融合させたコア技術を製造領域で磨き上げ、それらの技術を広げて、あらゆる領域でロボットが人々を支える未来を実現します。



センシング技術



スマート化技術

人工知能

分析
判断
機械学習

バックヤード



製造



自動化の障壁を
下げる

サービス(介護など)



ションを支える>

電力、交通、製造がスマート化する社会をけん引するとともに、エプソン完成品の価値創造に貢献します。



センシング ソリューション

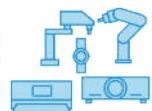
センサー・IoT



通信・ネットワーク

独自の
デバイス
技術
省
小

省電力 ソリューション



産業・ロボティクス
エプソン完成品

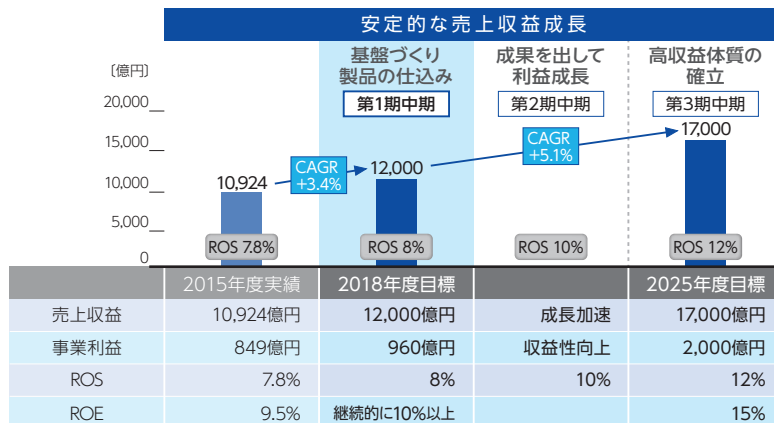
タイミングソリューション

Epson 25 第1期中期経営計画

Epson 25 第1期中期経営計画の基本方針

- SE15において「転換と開拓」を実現した事業領域は、その優位性をさらに強化し、成長を継続する。「転換と開拓」が遅れている事業領域は、すみやかに課題に対応し、成長軌道を確立する。
- Epson 25で目指す、「スマート、環境、パフォーマンス」のお客様価値を、製品やサービスの形に創り上げ、成長を確実なものとする。
- Epson 25を実現するために、短期的な利益成長を勘案しつつも、必要な経営資源はタイムリーかつ着実に投下する。
- 新しいビジネスモデルを早期に確立し、お客様にお届けする仕組みを充実する。

第1期中期経営計画は、これまで積み重ねてきた戦略の取り組みをベースに、「転換と開拓」の成果を継続させると同時に、Epson 25の実現に向けた戦略に基づき、製品開発の仕込みや必要な投資を積極的に行い、強固な基盤を整備していきます。この3年間で、成長に向けた基盤を創り上げることが、第2期以降での、売上収益の成長加速や収益性の向上を実現させる重要な第一歩になると考えています。



CF(キャッシュ・フロー)と成長投資

営業キャッシュ・フローは、これまでの取り組みにより、安定的・持続的に創出できる体質を構築することができました。この創出したキャッシュは、Epson 25実現に向けた基盤を創り上げ、第2期以降の利益拡大を確かなものにするための成長投資の継続・強化に活用させていただきます。

将来を見据えた研究開発投資や設備投資の他、M&Aなども活用することで戦略進展のスピードアップを図ります。

項目	SE15後期 新中期経営計画	Epson 25 第1期中期経営計画
営業CF	3年間累計：3,367億円	3年間累計：3,300億円程度
FCF	3年間累計：2,112億円	3年間累計：1,200億円程度

<成長のための投資など>

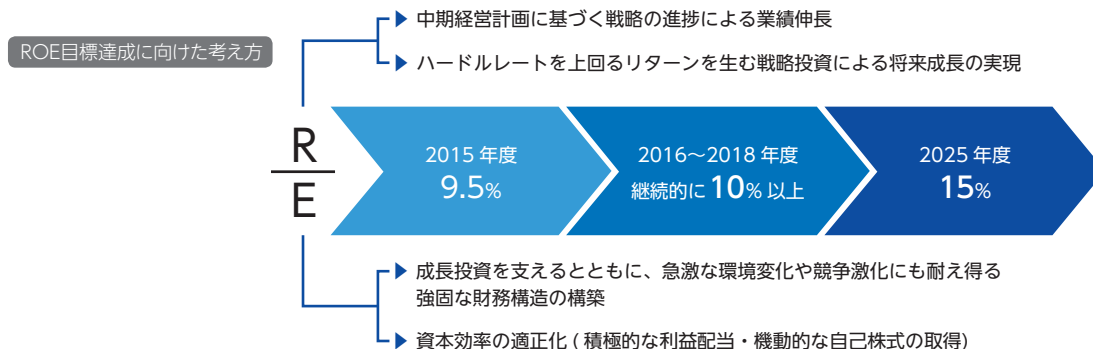
研究開発費	3年間累計：1,498億円	Epson 25実現に必要な新製品・要素の開発などに積極的に投下
設備投資	3年間累計：1,526億円	3年間累計：2,100億円程度 (開発・生産体制強化など)
M&A	3年間累計：約25億円	Epson 25実現に必要な案件は積極的に実施

キャッシュの使途

Epson 25実現のための成長投資に最優先で活用し、そのうえで、財務構造の強化と株主還元の充実を、同時に実現していきます。

成長投資は、ハードルレートを設定し、十分吟味したうえで実施します。そして、新規領域開拓に果敢に挑戦するための備えや、急激な環境変化や競争激化にも耐え得る財務構造の強化を行うのと並行して、積極的な利益配当と機動的な自己株式の取得などを進めながら、継続的に10%以上のROE達成を目指します。

目的	主な内容	優先度
成長投資など	○通常投資 ○ハードルレートを上回るリターンを生む戦略投資（M&Aや販売の基盤構築のための投資を含む）	最優先で対応
財務構造強化	○自己資本比率向上のための内部留保	同時並行的に実施
株主還元	○積極的な利益配当 ○機動的な自己株式の取得	



株主還元目標

エプソンは上場来、連結配当性向30%を目標に掲げてまいりました。

SE15後期 新中期経営計画においてこの目標を達成することができたことから、連結配当性向を40%程度にまで引き上げることを目標とします。

加えて、株価水準や資金の状況などを勘案したうえで機動的な自己株式の取得なども選択肢としながら、より高い水準での還元を実施することで、株主のみなさまのご期待に応えていきたいと考えています。

これからのエプソンの挑戦にご期待いただくとともに、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

項目	Epson 25 第1期中期経営計画
利益配当（連結配当性向）	中期的には40%*程度
自己株式の取得	株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に実施

※本業による利益を示す事業利益から法定実効税率相当額を控除した利益をベースに算出

世界初、使用済みの紙から新しい紙を生み出す オフィス製紙機「PaperLab (ペーパーラボ)」を開発

水を使わずに、文書情報の完全抹消、紙の自社内生産を実現。企業や自治体が循環型オフィスに変わる。

エプソンは、世界で初めて※¹、使用済みの紙(一般コピー用紙(A4、A3))を原料として、水を使わずに※²、文書情報を完全に抹消したうえで、新しい紙を生産できる小型のオフィス製紙機「PaperLab」を開発しました。エプソンは、「スマートサイクル事業」としてこの新規ビジネスを推進し、2016年内に国内向けに商品化を予定しています。

※1 乾式の製紙機において。2015年11月時点、当社調べ。 ※2 機器内の湿度を保つため、少量の水を使用します。



オフィスでつくる小さなサイクル

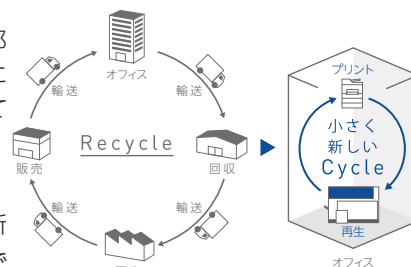
紙のリサイクルは、一般的にオフィスから製紙(再生)施設への輸送をとまなう、大きなプロセスで循環されています。エプソンは、オフィスで完結する、小さく、そして新しい資源サイクルを提案します。

機密文書の完全抹消

企業がこれまで外部へ委託したり、内部で裁断したりしている機密文書を、外部に持ち出すことなく、お客様の手元で安心して処理できます。

CO₂排出量の削減

オフィスで紙の循環を行うことにより、新しい紙の購入量を減らすとともに、これまで必要だった輸送CO₂の削減も期待できます。

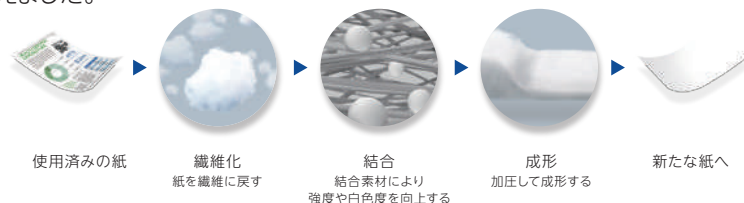


商品仕様

サイズ	横幅2.6m×奥行1.2m×高さ1.8m (突起部除く)
スペック	再生開始ボタンを押して、約3分で1枚目の新しい紙を出力。 A4用紙で1分間に約14枚、1日8時間稼働で6,720枚を生産可能。
生産可能な紙	A4・A3サイズの、紙厚の異なるオフィス用紙、名刺用紙、色や香り付きの紙など

繊維化・結合・成形という3つの技術から構成される 「ドライファイバーテクノロジー」

一般的に、A4の紙1枚を作るためにコップ1杯の水が使われています。エプソンは、世界的に水は貴重な資源だからこそ、水を使わない技術が必要だと考えました。



商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)										
創立	1942年5月18日										
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表)										
本店	〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー TEL: 03-5368-0700 (代表)										
資本金	532億4百万円										
従業員数	連結: 67,605人 単体: 11,850人 所在地別 連結従業員数 割合 <table border="1"> <caption>所在地別連結従業員数割合</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア・オセアニア</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>27.7%</td> </tr> <tr> <td>米州</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>3.1%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	割合	アジア・オセアニア	65.0%	日本	27.7%	米州	4.2%	欧州	3.1%
地域	割合										
アジア・オセアニア	65.0%										
日本	27.7%										
米州	4.2%										
欧州	3.1%										
グループ会社	90社 (当社含む国内19社、海外71社) 仕向地域別 売上収益割合 (2015年4月～ 2016年3月) <table border="1"> <caption>仕向地域別売上収益割合 (2015年4月～2016年3月)</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア・オセアニア</td> <td>25.8%</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>24.2%</td> </tr> <tr> <td>米州</td> <td>29.3%</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>20.7%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	割合	アジア・オセアニア	25.8%	日本	24.2%	米州	29.3%	欧州	20.7%
地域	割合										
アジア・オセアニア	25.8%										
日本	24.2%										
米州	29.3%										
欧州	20.7%										

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、支払 明細発行のお問い合わせ先・ 郵便物送付先 ^{※1}	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に 関する各種お手続きのお問い 合わせ先・郵便物送付先 ^{※2}	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむ を得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に 掲載して行う。
公告掲載アドレス	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6724/6724.html

- ※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。
- ※2 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

<MEMO>

第74回定時株主総会 会場のご案内

会場

シェラトン都ホテル東京 地下2階 だいご「醍醐」

東京都港区白金台一丁目1番50号

電話：03-3447-3111 (代表)

株主総会会場は、下記案内図をご参照ください。

交通のご案内

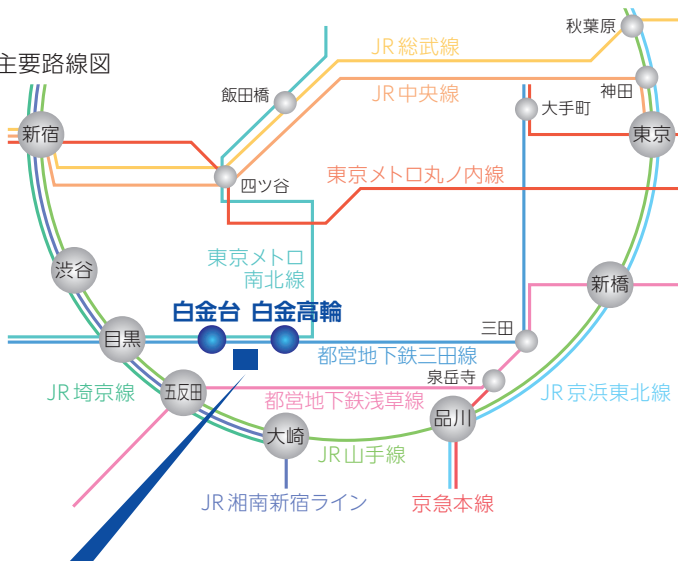
● 東京メトロ南北線 ● 都営地下鉄三田線

白金台駅 2番出口より徒歩4分

白金高輪駅 1番出口より徒歩5分

※駐車場のご用意はいたしておりませんので、
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

主要路線図



セイコーエプソン 株式会社

ホームページアドレス <http://www.epson.jp>



UD FONT

この招集ご通知は、FSC®認証紙と、環境にやさしい
植物油インキを使用して印刷しています。

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。